

外部評価意見への対応方針

番号	年月	外部評価意見	対応方針	分類
1	H29.9	・現在は有効活用するための基盤を整えている段階であり、その後の運用のなかで有効に活用されるかどうかを判明するため、別のアウトカムを設定された方がよい。例えば、平成30年度までに施設カルテを整備して行く過程の中で、都市整備局において各所属が意識を持って正しくカルテを使えるような研修やQ&Aの作成、相談対応などの仕組みを整えていくなど、それによって得られる成果(状態)をアウトカムとして設定することも考えてはどうか。	ご指摘の趣旨を踏まえ、施設カルテの活用に関する研修やマニュアルを充実させる等、施設所管所属が意識を持って正しくカルテを使えるように、仕組みを整えてまいります。その成果として、施設所管所属において施設カルテが有効活用され、今後作成する個別施設計画を通じて、メンテナンスサイクルが構築されている状態を平成30年度運営方針のアウトカムとするよう見直しを行っております。	②
2	H29.9	・データは使われて初めて価値となるものであり、都市整備局が整備した施設カルテの有効活用方法を、関係所属が認識・活用し、改良していくフローをアウトカムに設定することはできないか。完璧なデータベースを創ることではなく、今あるものを実際に利用してみても、昇華させていく方針で進めることも検討されたい。	施設カルテの活用に関する研修やマニュアルの整備などについては、関係所属の意向を踏まえながら実施、改良し、施設所管所属において個別施設計画に基づいたメンテナンスサイクルの構築に役立つよう努めてまいります。	②
3	H29.9	・今後、個別施設計画策定に際し、機能重複施設や築年数などカテゴリー別にあらかじめ施設を分類することで、市民に対して共有財産の有効活用の現況・あり方を見せていく工夫も検討することが必要と思われる。	個別施設計画において、市民に対して共有財産の有効活用の現況・あり方を分かり易く示すように検討してまいります。	②

※分類

- ①当年度(29年度)において対応 ②30年度運営方針に反映または30年度に対応予定
 ③30年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
 ⑤その他